

令和3年7月実施 生徒による授業評価 まとめ

木曽青峰高等学校

本校では、毎年7月に全生徒に対し、全職員・全講座に関する「授業評価アンケート」を無記名で実施し授業改善に役立っています。今年度も座学用・実習を伴う科目用などのアンケート用紙を作成し実施しました。それぞれのアンケート用紙に6項目の調査項目と記述部分を設けました。

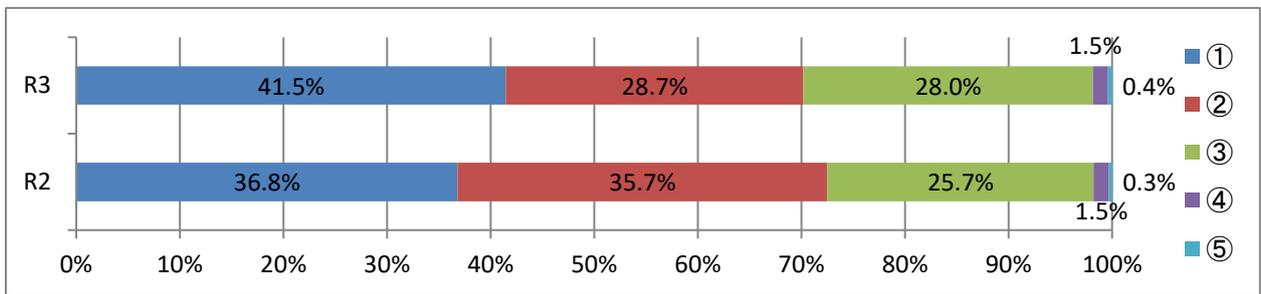
座学用アンケート項目6項目・実習を伴う科目用アンケート共通の3項目の全日制・定時制を合わせた結果は下記の通りです。

単位は全て%、カッコ内はR2年度

【座学中心の科目用授業アンケート結果】……2905件

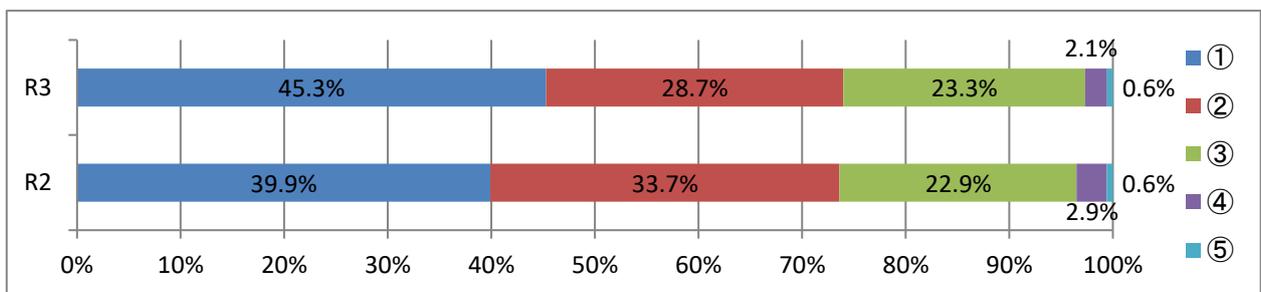
Q1. 授業に意欲的に取り組んでいますか。

①そう思う	②ほぼそう思う	③普通	④あまりそう思わない	⑤そう思わない
41.5% (36.8%)	28.7% (35.7%)	28.0% (25.7%)	1.5% (1.5%)	0.4% (0.3%)



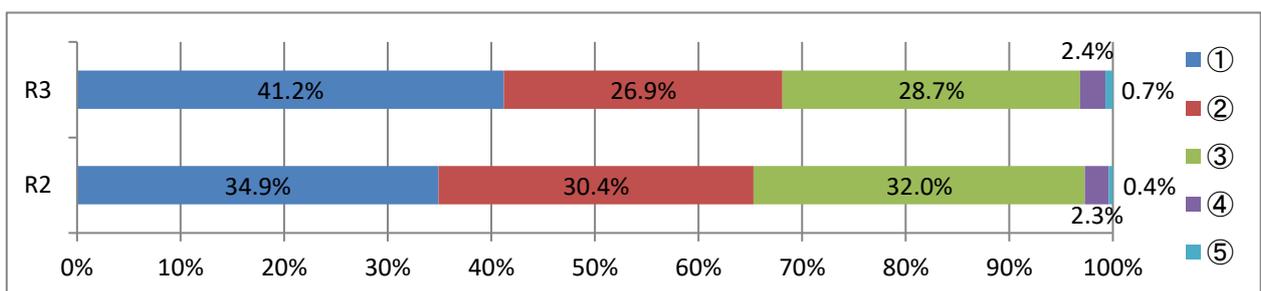
Q2. 授業は興味関心や学習意欲を高め、わかりやすく充実したものになっていますか。

①そう思う	②ほぼそう思う	③普通	④あまりそう思わない	⑤そう思わない
45.3% (39.9%)	28.7% (33.7%)	23.3% (22.9%)	2.1% (2.9%)	0.6% (0.6%)



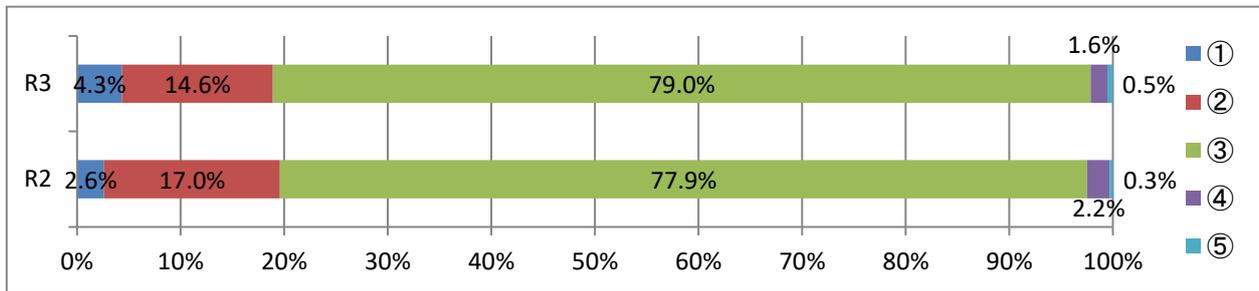
Q3. 問いかけや小テストなど理解を確かめながら授業が進められていますか。

①そう思う	②ほぼそう思う	③普通	④あまりそう思わない	⑤そう思わない
41.2% (34.9%)	26.9% (30.4%)	28.7% (32.0%)	2.4% (2.3%)	0.7% (0.4%)



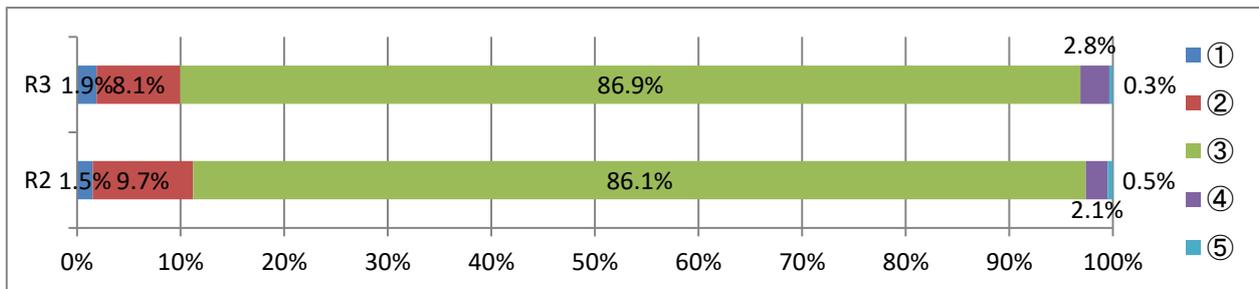
Q 4. 授業の難易度は適切ですか。

①難しい	②やや難しい	③ちょうどよい	④やや易しい	⑤易しい
4.3% (2.6%)	14.6% (17.0%)	79.0% (77.9%)	1.6% (2.2%)	0.5% (0.3%)



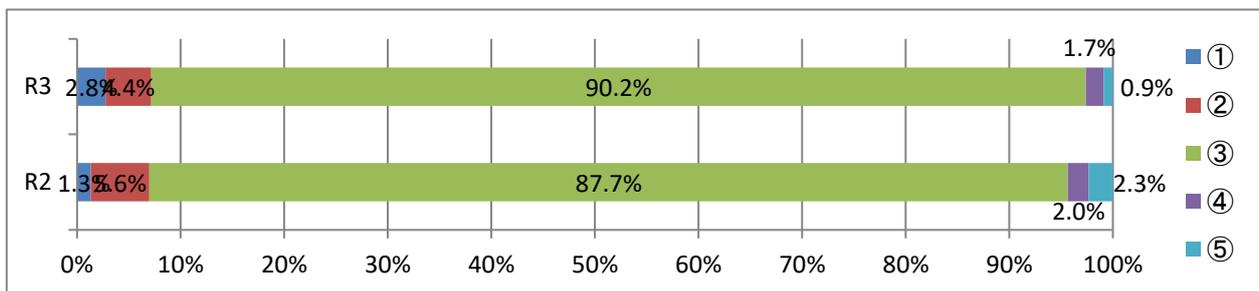
Q 5. 授業の進む速さは適切ですか。

①速い	②やや速い	③ちょうどよい	④やや遅い	⑤遅い
1.9% (1.5%)	8.1% (9.7%)	86.9% (86.1%)	2.8% (2.1%)	0.3% (0.5%)



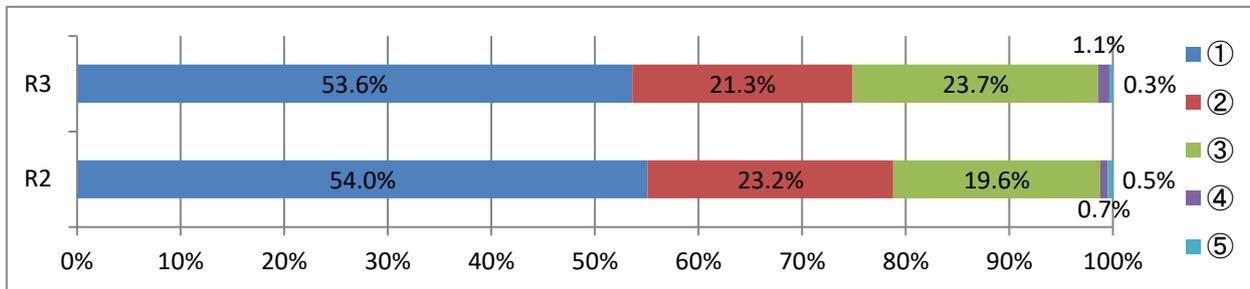
Q 6. 課題の量は適切ですか。

①多い	②やや多い	③適切である	④やや少ない	⑤少ない
2.8% (1.3%)	4.4% (5.6%)	90.2% (87.7%)	1.7% (2.0%)	0.9% (2.3%)



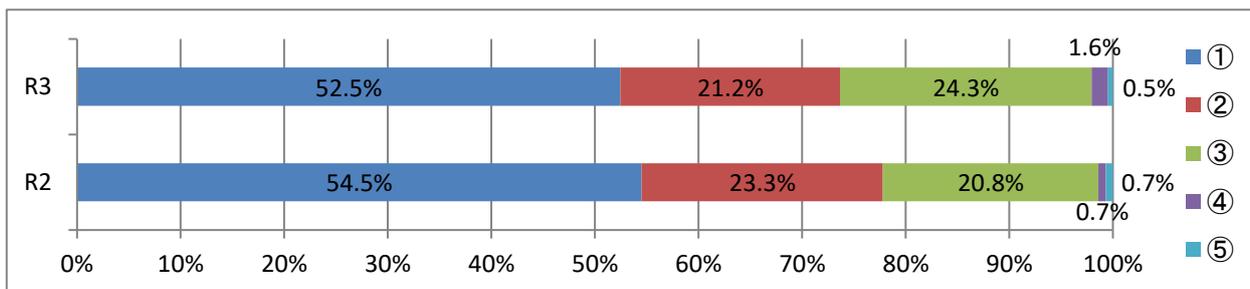
Q 1. 授業に意欲的に取り組んでいますか。

①そう思う	②ほぼそう思う	③普通	④あまりそう思わない	⑤そう思わない
53.6% (54.0%)	21.3% (23.2%)	23.7% (19.6%)	1.1% (0.7%)	0.3% (0.5%)



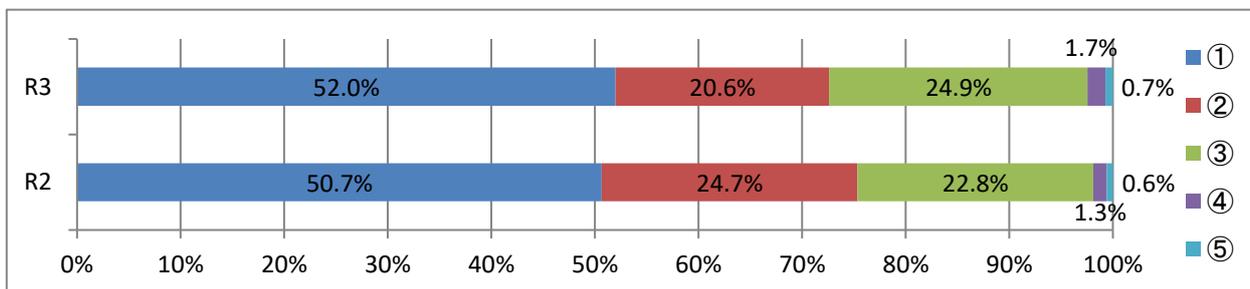
Q 2. 授業は興味関心や学習意欲を高め、わかりやすく充実したものになっていますか。

①そう思う	②ほぼそう思う	③普通	④あまりそう思わない	⑤そう思わない
52.5% (54.5%)	21.2% (23.3%)	24.3% (20.8%)	1.6% (0.7%)	0.5% (0.7%)



Q 3. 技術の習得など理解を確かめながら授業が進められていますか。

①そう思う	②ほぼそう思う	③普通	④あまりそう思わない	⑤そう思わない
52.0% (50.7%)	20.6% (24.7%)	24.9% (22.8%)	1.7% (1.3%)	0.7% (0.6%)



●全日制 生徒による授業評価 各教科のまとめ

1 分析した内容（教科毎の集計と個人の集計の比較、自由記述から等）

教科	ま と め
国語	<p>○普通科・理数科では概ね良い評価を受けている。</p> <p>○昨年度に引き続き、理数科・普通科の古典の授業を習熟度別で行った。自由記述からも「少人数で質問がしやすくなった」という意見が見られ、一人ひとりの実態にあった授業が行えていると思われる。</p> <p>○森林環境科インテリア科 Q4 難易度の質問で「難しい」が増加した。振り返りの時間を設けるなどして、生徒の理解を促したい。</p>
地歴・公民	<p>○専門科の課題提出量が昨年に比べて激増(1%→9%)に増えているが、課題は出していないためアンケート評価と現実乖離がある。</p> <p>○普通科・理数科の Q3 が 20%→30%に増えているが、他の教科に比べると低い数値であるため更なる改善が必要である。</p> <p>○理数科・普通科と専門科では、授業の理解度に差があることがアンケートもわかる。学科に応じた授業の形式や到達点を柔軟に運用する必要がある。</p>
数学	<p>○全体的に昨年度よりも良い評価を受けている。目的意識をもって授業に臨んでいる生徒が多いのではないかと。</p> <p>○普通科・理数科の Q4 「授業の難易度は適切か」において、「難しい、やや難しい」が 37%と高い。例題や応用例題の解説の仕方等、工夫や改善が必要である。</p> <p>○森林環境・インテリア科の Q3 「問いかげや小テストなどで理解を確かめながら授業を進められているか」において、「そう思う」が昨年度よりも 20%増加した。更に数値を伸ばしていけるよう工夫しながら継続して取り組みたい。</p>
理科	<p>○授業のあり方（目的・レベル）について生徒が理解して授業に臨んでいる。</p> <p>○内容が多いため、時間の都合上、丁寧に説明できていない。</p> <p>○生徒の理科に対する意欲が高まってきている。</p>
保健体育	<p>< 体育 ></p> <p>○昨年度よりも「興味関心や学習意欲を高める内容」になっていると感じる生徒が多く、意欲的に取り組む生徒の割合も増えた。今後も継続し、さらに発展的な活動できる活動内容・場を考えていきたい。</p> <p>< 保健 ></p> <p>○「意欲的に取り組んでいる」「興味関心や学習意欲を高める授業」と感じる生徒の割合が高い。生活に密着した内容を取り扱っていることや、担当者ごとに工夫しながら ICT や動画の活用を行っているためと思われる。</p> <p>○難易度が高く感じる生徒が多くなったのは、ICT の活用により内容がより深いものを提供できるようになったためと思われる。</p>

<p>芸術</p>	<p><音楽></p> <p>○自由記述欄に「もっと歌いたい。」という内容の記述があった。コロナ対策で合唱を扱うことが難しいが、コロナ対策のガイドラインに即してできるだけ工夫した授業を行っていきたい。</p> <p>○Q1～Q3</p> <p>多くの生徒が意欲的に取り組んでいるが昨年度と比べると値が下がっているため、生徒一人ひとりの様子に目を向け、知識・技術の定着を確認しながら授業を進めていきたい。</p> <p><美術></p> <p>○Q1,2,3,4において昨年度より「そう思う」を選んだ生徒が少なくなっている。特にQ4の授業の難易度に関して、難易度を適切と感じている生徒が激減している。昨年と授業内容が変わっていないことから（ただし美術に授業に限る）総合的に判断すると授業に付いて行きづらい生徒が増えたのではないかと思われる。</p>
<p>外国語</p>	<p>○理数科、普通科、専門科すべてに共通して、①授業への意欲②わかりやすさ、授業の充実③相互方向の授業展開について95%以上の生徒が普通以上の評価をしている。</p> <p>○難易度、授業の速さ、課題の量についてもよい評価をしている</p> <p>○専門科で4割弱の生徒が意欲に関して普通と回答しているが、授業充実については3割にとどまる。</p> <p>○理数科、普通科で2割ほどの生徒が内容を難しい、やや難しいと解答している。しかし去年のデータよりは減少している。</p>
<p>家庭</p>	<p>○授業への意欲、充実度については、7割以上がそう思うと回答している。おおむねよく取り組んでいると考える。(Q1,2)</p> <p>○進度、難易度については9割以上が丁度よいということであるが、難しいという回答も若干ある。今後も様子を見ながら進めたい。(Q3,4,5)</p> <p>○課題、実習については9割以上が適切ということであった。(Q6)</p>
<p>森林環境</p>	<p>Q1 あなたは授業に意欲的に取り組んでいますか。</p> <p>① そう思う 51% ② ほぼそう思う 19% ③ 普通 29% ④ あまり思わない 0% ⑤ 思わない 0%</p> <p>昨年よりも意欲的に取り組んでいる生徒が多くなっている。さらに意欲的に取り組めるよう授業改善を行いたい。</p> <p>Q2 授業は興味関心や学習意欲を高め、わかりやすく充実したものになっていますか。</p> <p>① 48% ② 21% ③ 29% ④ 1% ⑤ 0%</p> <p>昨年と変わらない結果ではあるが多くの生徒が③普通以上の回答となっている。さらに生徒の興味関心を高め、わかりやすく充実したものになるようにしていきたい。</p> <p>Q3 技術の習得など理解を確かめながら授業が進められていますか。</p> <p>① 56% ② 13% ③ 29% ④ 1% ⑤ 0%</p> <p>昨年よりも「①そう思う」生徒が増えている</p>

	<p>Q4 授業中の安全確保に配慮がなされていますか。</p> <p>① そう思う 56% ② ほぼそう思う 13% ③ 普通 30% ④ あまり思わない 1% 思わない 0%</p> <p>危険を伴う林業実習・機械実習を行っている。安全を最優先しながら充実した実習を行いたい。</p> <p>Q5 授業の進む速さは適切ですか。 ちょうどよい 91%</p> <p>Q6 実技の量は適切ですか。 適切である 80%となっている。</p>
インテリア	<p>○TypeA (専門科座学)</p> <p>Q1 生徒自らの授業への取り組みは自己肯定の数値となっている。</p> <p>Q2 授業は興味関心や学習意欲を高め充実した内容になっているかについては、普通以上で概ね高くなっている。</p> <p>Q3 問いかけや小テストなど理解を確かめながらの授業進行については、ほぼそう思う以上が 6 割強、普通が 4 割と問いかけに肯定的である。</p> <p>Q4 授業の難易度はちょうどよいが 80%、やや難し以上が 20%で生徒の要望を聞いてみたい。</p> <p>Q5Q6 授業の進む速さ課題の量については、ほぼ適切と判断できる。</p> <p>○TypeD (専門科実習)</p> <p>Q1 生徒自らの授業への取り組みは普通を含めた数値がそう思うの方向にあり肯定的ある。</p> <p>Q2 授業は興味関心や学習意欲を高め充実した内容になっているかについては、おおむねそう思うの分類であるが、5 ポイント程度のそう思わない生徒が存在するので要望を聞いてみたい。</p> <p>Q3 技術の修得など理解を確かめながらの授業進行については、そう思う、ほぼそう思う、普通以外の分類として、5 ポイント程度の生徒が存在する。そう思わない生徒の要望を聞いてみたい。</p> <p>Q4 授業中の安全確保については、そう思う、ほぼそう思う、普通と思う生徒の他、5 ポイント程度のそう思わない生徒が存在するので、意見要望を聞き改善すべき部分は改善したい。</p> <p>Q5 授業の進む早さについては、早い、やや早いと感じる生徒が約 25 ポイント存在するので、安全面などを含め配慮したい。</p> <p>Q6 実技の量については、多い、やや多いが昨年の 3 倍程度約 20 ポイントの生徒が存在する。今後コロナ禍によりリモート授業が実施され実質的に実習ができないこともあり得るので、補習の実施等、対策も併せて考えていきたい。</p>

2 今後の授業で改善したほうがよい点等

教科	ま と め
国語	<p>○森林環境科インテリア科の講座替えについて、時期を早められないか検討していきたい。</p> <p>○オンライン授業については、科内で実践例を共有し、授業内容の充実を図っていきたい。</p>
地歴・公民	<p>○アンケートに即して課題の量を調整したい。</p>
数学	<p>○板書の字が小さいという意見があった。授業の机間巡視などで確認したい。</p> <p>○問題を解く時間が短いので、なるべく問題に取り組む時間を確保できるように説明を最小限にするなど工夫したい。</p>
理科	<p>○確認テストは好評。グループワーク、テスト持ち込み可など効果的なものは継続して取り組んでいく。</p> <p>○ICT を積極的に活用していく。</p>
保健体育	<p><体育></p> <p>○「実技の量がやや少ない」と感じる生徒の割合もあるので、講座ごとに生徒の実態に即した運動量を検討していきたい。</p> <p><保健></p> <p>○生徒の意欲に対して応えられるような授業内容の充実を図りたい。</p> <p>○今後もICTを活用したりグループワークを行い、難易度の高い内容でも理解が深められるよう工夫をしていきたい。</p>
芸術	<p><音楽></p> <p>○知識・技術の定着を確認する場を設け、ひとりひとりの到達度を確認していきたい。</p> <p><美術></p> <p>○生徒の理解力が今までより平均的に下がっているように思われるので、より個別のレベルに応じた授業を進めていかなければならない。</p>
外国語	<p>○専門科では生徒の理解を確認しながら授業展開を意識したい。</p> <p>○専門科の生徒の授業への不安などを考慮しながら、自信をつけられるよう指導したい。</p> <p>○ICT を用いたオンライン授業への工夫や、こちら側の慣れが必要。</p> <p>○依然として、若干の生徒が授業への何らかの不満を持っているので、上位を伸ばしながらも下位への配慮や追指導を心掛けたい。</p>
家庭	<p>○確認の時間や小テストなどで理解や実技の様子を確かめる工夫。</p> <p>○ICT を活用する。</p>
森林環境	<p>○Q1 Q2 で問われている生徒の学習意欲的や興味関心に関わるポイントの向上を図るため、教材の提示方法や説明の見直し、問い掛けや課題設定の工夫など授業の改善に取り組む。</p> <p>○実習における安全教育については引き続き重視していく。</p>
インテリア	<p>○昨年まで実施されていた良い取り組みを再確認し、継続してゆく。</p>

●定時制 生徒による授業評価 各教科のまとめ

1 分析した内容（教科毎の集計、自由記述から等）

Type A 座学において

○Q 1、Q 2、Q 3については①そう思う、②ほぼそう思う、が5割～6割で、例年と大きな差はなく、概ね各学年共に授業に意欲的に取り組み、理解や充実感が高まっている。

○Q 4の難易度に対しては③ちょうどよい、が7割を超えている一方、①難しい、②やや難しい、と④やや易しい、⑤優しい、がそれぞれ1割程度いるが、学力に幅があるため、どのレベルに合わせるかによって回答の割合も変わる質問であり、ただ生徒に合わせるだけでなく、意欲的に取り組んでいるからこそ、多少負荷をかけて力を付けさせることも時に必要であると考えます。

○Q 5、Q 6については①②が8割を超えており、適切であると考えます。

Type B 実習教科において

○Q 1、Q 2、Q 3について①そう思う、②ほぼそう思う、が5割以上で座学の授業と同様の結果である。

○Q 4、Q 5、Q 6についても座学と同様のことがいえる。

2 今後の授業で改善したほうがよい点等

○授業の難易度に関しては、意欲的に取り組んでいる生徒が多いので難度を上げていくことも必要であるが、丁寧な指導と共に、理解の確認を怠ることなく進めていく。また、適切な評価を行い、生徒が達成感や、充実感を得られるように指導することが必要と思われる。

○実技についても同様に、適切な評価をしながら生徒の学修に対するモチベーションを高めるように努めていく。

【まとめ】

日々の授業は、生徒と教師が一体となって作りあげていきます。このアンケートを通じて、生徒は自らの授業に対する姿勢を確認し、教師は自身の授業がどのように受け止められているかを客観的に把握して、授業改善に役立てています。どの学年・どの学科・どのクラス・どの講座でも「授業第一主義」であることを教師生徒が互いに再確認し、より一層充実した授業になるよう努力してまいります。